

令和6年度

収支決算書

令和6年4月1日

～

令和7年3月31日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

概 況

最近のエネルギーを巡る国際情勢をみますと、ウクライナ侵攻や中東での紛争等が緊迫した状況が続いている上に、米国が打ち出した異例の関税措置等により不確実性が増していることから、「安全保障」の視点がますます重要になっています。

また世界的なデジタル経済の急進展に伴い、データセンターや AI の普及により電力需要が大幅増となる可能性が高まっています。

一方、このような中でも、異常気象の頻発化等により地球温暖化への懸念が一層高まっていることから、米国の方針変更により、国際連携の機運が弱まるおそれはあるものの、「2050年カーボンニュートラル実現」に向け、引き続き温室効果ガスの削減が「待ったなし」となっています。

かかる状況に対応し、本年2月には、第7次エネルギー基本計画が「GX2040ビジョン」「地球温暖化対策計画」と一体的にとりまとめられました。

これにより我が国は、S+3Eを原則として、化石エネルギーへの過度な依存からの脱却を念頭に、エネルギーの供給サイドにおいては、再エネや原子力を最大限活用するとともに、需要サイドにおいては、「徹底した省エネ」や非化石エネルギーへの転換等を進める方針を明確にいたしました。

こうした中、「省エネを中心とするエネルギー利用の最適化」を目指す当センターといたしましては、令和6年度において以下のような事業活動を推進してまいりましたが、現下のエネルギー情勢を踏まえ、今後とも国内外における取組を拡充・強化していくこととしています。

I. エネルギー利用の最適化等に向けた政策への協力

中小企業等においてエネルギー利用の最適化を推進するため、専門家による診断サービス等を提供するとともに、地域において関係機関等との連携を図りました。

また、省エネ法等の円滑な執行や計画的なCO₂削減対応への支援等を実施しました。

II. 省エネ関連情報の発信

「徹底した省エネ」やカーボンニュートラルに向けた産業・業務・家庭等あらゆる分野の活動を支援するため、「省エネ大賞」、「ENEX2025」、Webサイト等の媒体を通じて、先進的な製品、技術・ノウハウ、ビジネスモデル、活動事例、関連政策等について有益な情報を発信しました。

III. カーボンニュートラルに向けた支援サービスの提供

カーボンニュートラルを念頭に行う企業等のエネルギー管理活動を支援するため、体制整備や計画策定への助言、ソリューション及び実施指導等を行いました。また、当該活動における中核人材等を育成するため、オンライン等も活用しつつ教育事業や資格認定を実施しました。

IV. 省エネ関連国際協力・ビジネス交流の推進

エネルギー需要や温室効果ガスが増大している新興国等においてカーボンニュートラルに向けた活動が促進されるよう、人材育成を通じて我が国の優れた省エネ・再エネ技術や関連政策・制度の普及に努めました。

また、官民一体となって設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」と連携して、省エネ関連の国際ビジネス交流を支援しました。

V. 国家試験等の円滑な実施

省エネ法に基づくエネルギー管理者、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員に係る資格に関し、オンライン等も活用しつつ、所定の試験・研修・講習を円滑かつ厳正に実施しました。

その際には、国からの補助・受託事業については政策意図に沿った実施に努めるとともに、当センター独自事業については新たなニーズ等も踏まえてその充実を図ることを通じて、事業効果の最大化と財務基盤の強化を両立するよう注力しました。

なお、公益法人から移行した一般財団法人として、令和6年度も公益目的支出計画の着実な実行を図りました。

収 支 決 算 書

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預貯金	154,572,614	117,932,902	36,639,712
未収金	746,779,229	787,911,367	△ 41,132,138
未収利息	1,479,801	1,492,106	△ 12,305
売掛金	5,514,771	6,319,770	△ 804,999
商品	1,516,165	2,019,600	△ 503,435
製品	4,783,307	5,296,019	△ 512,712
仕掛品	33,243,468	7,968,613	25,274,855
貯蔵品	191,545	228,442	△ 36,897
前払金	18,220,922	17,711,915	509,007
流動資産 合計	966,301,822	946,880,734	19,421,088
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	249,023,892	248,950,385	73,507
定期預金	225,976,108	226,049,615	△ 73,507
基本財産 合計	475,000,000	475,000,000	0
(2) 特定資産			
運営強化等積立資産	1,844,323,286	1,788,889,214	55,434,072
退職給付積立資産	129,170,100	142,215,600	△ 13,045,500
特定資産 合計	1,973,493,386	1,931,104,814	42,388,572
(3) その他の固定資産			
造 作	4,102,553	5,058,241	△ 955,688
什器備品	3,743,563	454,564	3,288,999
機械装置	1,218,175	1,624,230	△ 406,055
ソフトウェア	9	9	0
電話加入権	2,841,592	2,841,592	0
保証金	49,435,766	50,740,036	△ 1,304,270
長期前払費用	467,358	800,646	△ 333,288
その他の固定資産合計	61,809,016	61,519,318	289,698
固定資産 合計	2,510,302,402	2,467,624,132	42,678,270
資 産 合 計	3,476,604,224	3,414,504,866	62,099,358
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	500,000,000	500,000,000	0
未払金	151,119,165	178,959,836	△ 27,840,671
会費前受金	58,049,010	58,299,010	△ 250,000
前受金	62,959,853	12,672,570	50,287,283
預り金	7,352,931	8,491,913	△ 1,138,982
賞与引当金	9,111,843	10,458,687	△ 1,346,844
流動負債 合計	788,592,802	768,882,016	19,710,786
2. 固定負債			
退職給付引当金	129,170,100	142,215,600	△ 13,045,500
固定負債 合計	129,170,100	142,215,600	△ 13,045,500
負 債 合 計	917,762,902	911,097,616	6,665,286
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	375,000,000	375,000,000	0
民間寄付金	325,000,000	325,000,000	0
指定正味財産 合計	700,000,000	700,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(475,000,000)	(475,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(225,000,000)	(225,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,858,841,322	1,803,407,250	55,434,072
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,619,323,286)	(1,563,889,214)	(55,434,072)
正味財産合計	2,558,841,322	2,503,407,250	55,434,072
負債及び正味財産合計	3,476,604,224	3,414,504,866	62,099,358

注)実施事業資産は、以下のとおりである。

未収金 696,611,289円

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,350,949	2,354,077	△ 3,128
② 特定資産運用益	5,165,569	4,999,646	165,923
③ 賛助会費	139,053,000	140,450,500	△ 1,397,500
④ 事業収益	610,104,919	629,701,250	△ 19,596,331
試験・講習事業収益	416,554,400	402,685,150	13,869,250
出版事業収益	64,098,520	65,753,667	△ 1,655,147
通信教育・講座等事業収益	45,131,878	50,065,634	△ 4,933,756
その他事業収益	84,320,121	111,196,799	△ 26,876,678
⑤ 受取補助金等収益	1,260,634,202	1,321,284,399	△ 60,650,197
国庫等補助金収益	415,111,464	405,860,026	9,251,438
受託収益	845,522,738	915,424,373	△ 69,901,635
⑥ 雑収益	486,966	2,894,981	△ 2,408,015
受取利息	464,146	6,581	457,565
雑収益	22,820	2,888,400	△ 2,865,580
経常収益計	2,017,795,605	2,101,684,853	△ 83,889,248
(2) 経常費用			
① 事業費	1,862,511,370	1,942,943,072	△ 80,431,702
給与手当等	524,562,375	540,107,256	△ 15,544,881
臨時雇用員費	425,422,616	419,819,968	5,602,648
旅費交通費	107,665,457	111,419,199	△ 3,753,742
機器賃借料	10,968,947	12,293,263	△ 1,324,316
諸謝金	117,470,156	132,903,920	△ 15,433,764
会場費	50,832,118	91,757,705	△ 40,925,587
印刷製本費	56,123,442	61,243,364	△ 5,119,922
外注委託費	182,698,969	182,839,055	△ 140,086
その他事業費	386,767,290	390,559,342	△ 3,792,052
② 管理費	99,850,163	107,024,061	△ 7,173,898
給与手当等	84,171,295	85,468,918	△ 1,297,623
臨時雇用員費	13,208,071	13,500,120	△ 292,049
減価償却費	2,766,948	3,639,510	△ 872,562
事務所等賃借料	127,200,182	125,545,769	1,654,413
租税公課	66,010,871	75,196,311	△ 9,185,440
短期借入金利息	75,342	116,712	△ 41,370
その他事務費	50,201,125	53,735,244	△ 3,534,119
事業費への事務費振替額	△ 243,783,671	△ 250,178,523	6,394,852
経常費用計	1,962,361,533	2,049,967,133	△ 87,605,600
当期経常増減額	55,434,072	51,717,720	3,716,352
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	55,434,072	51,717,720	3,716,352
一般正味財産期首残高	1,803,407,250	1,751,689,530	51,717,720
一般正味財産期末残高	1,858,841,322	1,803,407,250	55,434,072
II 指定正味財産増減の部			
1. 基本財産運用益			
投資有価証券利息	2,350,949	2,354,077	△ 3,128
2. 特定資産運用益			
投資有価証券利息	872,168	863,742	8,426
3. 一般正味財産への振替額	△ 3,223,117	△ 3,217,819	△ 5,298
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	700,000,000	700,000,000	0
指定正味財産期末残高	700,000,000	700,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,558,841,322	2,503,407,250	55,434,072

科目	実施事業等会計							その他会計							法人会計	合計	
	継続-1	継続-2	継続-3	継続-4	継続-5	共通	小計	その他-1	その他-2	その他-3	その他-4	その他-5	その他-6	小計			
	産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	国際協力・活動政策の推進事業	省エネ大賞表彰事業	エネルギー管理士試験・講習関連調査事業			産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	省エネ関連人材の育成推進事業	エネルギー管理士試験・講習事業	国際協力・活動の推進事業	その他事業				
I 一般正味財産増減の部																	
1、経常増減の部																	
(1)経常収益																	
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,350,949	2,350,949
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,165,569	5,165,569
③賛助会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139,053,000	139,053,000
④事業収益	7,569,210	0	0	34,571,376	0	0	42,140,586	4,677,310	5,660,465	46,926,324	416,554,400	220,877	93,924,957	567,964,333	0	610,104,919	610,104,919
試験・講習事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	416,554,400	0	0	416,554,400	0	416,554,400	416,554,400
出版事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,098,520	64,098,520	0	64,098,520	64,098,520
通信教育・講座等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,131,878	0	0	0	45,131,878	0	45,131,878	45,131,878
その他事業収益	7,569,210	0	0	34,571,376	0	0	42,140,586	4,677,310	5,660,465	1,794,446	0	220,877	29,826,437	42,179,535	0	84,320,121	84,320,121
⑤受取補助金等収益	532,768,682	251,994,072	392,325,095	0	0	0	1,177,087,849	65,899,026	3,160,810	10,424,442	0	4,062,075	0	83,546,353	0	1,260,634,202	1,260,634,202
国庫等補助金収益	415,111,464	0	0	0	0	0	415,111,464	0	0	0	0	0	0	0	0	415,111,464	415,111,464
受託収益	117,657,218	251,994,072	392,325,095	0	0	0	761,976,385	65,899,026	3,160,810	10,424,442	0	4,062,075	0	83,546,353	0	845,522,738	845,522,738
⑥雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	486,966	486,966
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	464,146	464,146
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,820	22,820
経常収益計	540,337,892	251,994,072	392,325,095	34,571,376	0	0	1,219,228,435	70,576,336	8,821,275	57,350,766	416,554,400	4,282,952	93,924,957	651,510,686	147,056,484	2,017,795,605	2,017,795,605
(2)経常費用																	
①事業費	578,941,640	268,577,039	419,992,650	36,594,584	276,145	0	1,304,382,058	34,840,477	6,069,051	56,289,271	342,656,488	4,027,400	114,246,625	558,129,312	0	1,862,511,370	1,862,511,370
給与手当等	153,751,196	109,174,774	106,058,500	13,811,354	258,786	0	383,054,610	12,230,280	2,091,963	19,080,295	95,615,564	280,060	12,209,603	141,507,765	0	524,562,375	524,562,375
臨時雇員費	165,790,063	65,078,012	104,535,231	1,500,673	0	0	336,903,979	3,388,484	1,390,887	11,474,873	61,933,465	726,130	9,604,798	88,518,637	0	425,422,616	425,422,616
旅費交通費	20,710,098	390,698	74,521,811	2,881,945	0	0	98,504,552	3,457,416	569,764	1,403,470	1,845,157	131,696	1,753,402	9,160,905	0	107,665,457	107,665,457
機器賃貸料	3,264,802	674,850	2,649,200	1,694	0	0	6,590,546	163,020	0	468,325	3,736,972	0	10,084	4,378,401	0	10,968,947	10,968,947
諸謝金	83,976,030	1,917,370	1,167,410	2,596,310	0	0	89,657,120	3,110,580	0	2,204,432	18,385,404	521,650	3,590,970	27,813,036	0	117,470,156	117,470,156
会場費	1,798,219	1,002,603	16,497,721	1,304,265	0	0	20,602,808	121,000	0	1,285,445	27,564,186	587,793	670,886	30,229,310	0	50,832,118	50,832,118
印刷製本費	8,869,041	125,108	3,871,921	1,695,980	0	0	14,562,050	0	446,060	815,353	27,627,680	1,276,999	11,395,300	41,561,392	0	56,123,442	56,123,442
外注委託費	24,804,993	38,138,743	39,901,424	1,244,936	0	0	104,090,096	2,828,942	157,928	6,793,631	17,233,197	0	51,595,175	78,608,873	0	182,698,969	182,698,969
その他事業費	115,977,198	52,074,881	70,789,432	11,557,427	17,359	0	250,416,297	9,540,755	1,412,449	12,763,447	88,714,863	503,072	23,416,407	136,350,993	0	386,767,290	386,767,290
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99,850,163	99,850,163
給与手当等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,171,295	84,171,295
臨時雇員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,208,071	13,208,071
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,766,948	2,766,948
事務所等賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127,200,182	127,200,182
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,010,871	66,010,871
短期借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,342	75,342
その他事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,201,125	50,201,125
事業費への事務費振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 243,783,671	△ 243,783,671
経常費用計	578,941,640	268,577,039	419,992,650	36,594,584	276,145	0	1,304,382,058	34,840,477	6,069,051	56,289,271	342,656,488	4,027,400	114,246,625	558,129,312	99,850,163	1,962,361,533	1,962,361,533
当期経常増減額	△ 38,603,748	△ 16,582,967	△ 27,667,555	△ 2,023,208	△ 276,145	0	△ 85,153,623	35,735,859	2,752,224	1,061,495	73,897,912	255,552	△ 20,321,668	93,381,374	47,206,321	55,434,072	55,434,072
2、経常外増減の部																	
(1)経常外収益																	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用																	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 38,603,748	△ 16,582,967	△ 27,667,555	△ 2,023,208	△ 276,145	0	△ 85,153,623	35,735,859	2,752,224	1,061,495	73,897,912	255,552	△ 20,321,668	93,381,374	47,206,321	55,434,072	55,434,072
一般正味財産期首残高	△ 640,855,549	△ 149,054,478	△ 248,081,768	△ 40,775,122	△ 25,756,965	1,519,032,148	414,508,266	360,704,640	116,554,731	△ 1,456,217	649,816,075	130,529,021	△ 409,794,069	846,354,181	542,544,803	1,803,407,250	1,803,407,250
一般正味財産期末残高	△ 679,459,297	△ 165,637,445	△ 275,749,323	△ 42,798,330	△ 26,033,110	1,519,032,148	329,354,643	396,440,499	119,306,955	△ 394,722	723,713,987	130,784,573	△ 430,115,737	939,735,555	589,751,124	1,858,841,322	1,858,841,322
II 指定正味財産増減の部																	
1、基本財産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,350,949	2,350,949
2、特定資産運用益																	
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	872,168	872,168
3、一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,223,117	△ 3,223,117
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
III 正味財産期末残高	△ 679,459,297	△ 165,637,445	△ 275,749,323	△ 42,798,330	△ 26,033,110	2,219,032,148	1,029,354,643	396,440,499	119,306,955	△ 394,722	723,713,987	130,784,573	△ 430,115,737	939,735,555	589,751,124	2,558,841,322	2,558,841,322

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	248,950,385	73,507	0	249,023,892
	定期預金	226,049,615	0	73,507	225,976,108
	基本財産計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産	運営強化等積立資産	1,788,889,214	55,434,072	0	1,844,323,286
	退職給付引当資産	142,215,600	0	13,045,500	129,170,100
	特定資産計	1,931,104,814	55,434,072	13,045,500	1,973,493,386

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	10,458,687	9,111,843	10,458,687	0	9,111,843
退職給付引当金	142,215,600	8,727,000	21,772,500	0	129,170,100

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

当該事業年度は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」を採用している。

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 個別法による償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
①製品、仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
②商品、貯蔵品 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産（リース資産を除く）
イ. 造作 定額法
ロ. 造作以外の有形固定資産 定率法
②無形固定資産（リース資産を除く）
ソフトウェア（自社利用分） 定額法（5年間）
③リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法
- (4) 引当金の計上基準
①貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
②賞与引当金 職員への賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。
③退職給付引当金 役員及び職員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 : 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	248,950,385	73,507	0	249,023,892
定期預金	226,049,615	0	73,507	225,976,108
小 計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産				
運営強化等積立資産	1,788,889,214	55,434,072	0	1,844,323,286
退職給付積立資産	142,215,600	0	13,045,500	129,170,100
小 計	1,931,104,814	55,434,072	13,045,500	1,973,493,386
合 計	2,406,104,814	55,507,579	13,119,007	2,448,493,386

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	249,023,892	(249,023,892)	(0)	(0)
定期預金	225,976,108	(225,976,108)	(0)	(0)
小 計	475,000,000	(475,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
運営強化等積立資産	1,844,323,286	(225,000,000)	(1,619,323,286)	(0)
退職給付積立資産	129,170,100	(0)	(0)	(129,170,100)
小 計	1,973,493,386	(225,000,000)	(1,619,323,286)	(129,170,100)
合 計	2,448,493,386	(700,000,000)	(1,619,323,286)	(129,170,100)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
造作	28,932,573	24,830,020	4,102,553
什器備品	22,372,265	18,628,702	3,743,563
機械装置	16,349,432	15,131,257	1,218,175
合 計	67,654,270	58,589,979	9,064,291

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第8回利付国債(H27.12.22取得)	49,807,531	38,590,000	△ 11,217,531
第267回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.1.26取得)	99,890,607	92,820,000	△ 7,070,607
第57回地方公共団体金融機構債券(H29.3.14取得)	99,325,754	87,083,600	△ 12,242,154
特定資産			
第519回中部電力社債(H29.2.24取得)	99,747,887	86,780,000	△ 12,967,887
第159回利付国債(H29.3.13取得)	9,937,748	8,872,910	△ 1,064,838
第78回利付国債(H17.6.16取得)	73,000,000	73,240,900	240,900
第78回利付国債(H18.1.18取得)	26,997,539	27,089,100	91,561
第8回利付国債(H27.12.21取得)	59,884,063	46,312,500	△ 13,571,563
第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.3.16取得)	209,380,065	188,680,000	△ 20,700,065
第517回東北電力社債(グリーンボンド)(R2.2.27取得)	100,000,000	98,890,000	△ 1,110,000
合 計	827,971,194	748,359,010	△ 79,612,184

※ グリーンボンド：資金用途を環境改善効果のある事業に限定した債券

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助事業						
・令和6年度中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費補助金	経済産業省	0	415,111,464	415,111,464	0	—
小計		0	415,111,464	415,111,464	0	
受託事業						
・令和6年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業	経済産業省	0	84,113,312	84,113,312	0	—
・令和6年度省エネルギー促進広報事業	経済産業省	0	33,543,846	33,543,846	0	—
・令和6年度新興国等脱炭素化・エネルギー転換事業	経済産業省	0	392,325,095	392,325,095	0	—
・令和5年度(補正)工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業に係る制度運営支援委託業務	環境省	0	99,555,500	99,555,500	0	—
・令和6年度工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業に係る支援業務	環境省	0	142,945,000	142,945,000	0	—
・令和6年度環境技術実証事業 大気環境保全技術領域・気候変動対策技術領域実証機関業務	環境省	0	9,493,572	9,493,572	0	—
・その他受託事業	東京都ほか	0	83,546,413	83,546,413	0	—
小計		0	845,522,738	845,522,738	0	
合 計		0	1,260,634,202	1,260,634,202	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,350,949
特定資産受取利息の振替額	872,168
合 計	3,223,117

8. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	129,170,100
退職給付引当金	129,170,100

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	8,727,000
退職給付費用	8,727,000

(注) 退職給付費用8,727,000円は、事業費の「給与手当等」に2,837,700円、管理費の「給与手当等」に5,889,300円計上している。

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

9. 正味財産増減計算書に関する注記

管理費の「事業費への事務費振替額」243,783,671円は、間接部門で発生した事務費のうち、事業費に按分する金額であり、当該按分額は事業費の「その他事業費」に計上されている。

なお、その内訳は次のとおりである。

実施事業等会計	186,460,513円
その他会計	57,323,158円
合計	243,783,671円

10. 資産除去債務に関する注記

当法人は、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識している。なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸借契約に関する敷金及び保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっている。

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	摘 要	金 額	
I 流動資産			966,301,822
現金及び預貯金		154,572,614	
	普通預金	1,111,601,498	
	みずほ銀行	8,318,018	
	三井住友銀行	1,098,057,144	
	三菱UFJ銀行	69,323	
	各支部	5,157,013	
	定期預金	539,656,800	
	みずほ銀行	50,083,800	
	三井住友銀行	489,573,000	
	当座預金	123,615,358	
	みずほ銀行	123,615,358	
	郵便貯金	221,150	
	固定資産（基本財産、特定資産）への振替額	△ 1,620,522,192	
	基本財産	△ 225,976,108	
	運営強化等積立資産	△ 1,265,375,984	
	退職給付積立資産	△ 129,170,100	
未 収 金		746,779,229	
	経済産業省補助収益	163,273,224	
	経済産業省受託収益	279,982,313	
	環境省受託収益	251,994,072	
	その他受託収益	42,886,327	
	講習・講座受講料	1,011,415	
	その他未収金	7,631,878	
未 収 利 息 金		1,479,801	
商 掛 品		5,514,771	
製 掛 品		1,516,165	
仕 掛 品		4,783,307	
	図書	33,243,468	
	雑誌製作費	3,397,625	
貯 蔵 品		29,845,843	
	次年度プロジェクト対応事業費	29,845,843	
	郵便切手・はがき等	164,945	
	収入印紙	26,600	
前 払 金		191,545	
	試験会場費他	18,220,922	
II 固定資産			2,510,302,402
(1)基本財産		475,000,000	
投資有価証券		249,023,892	
	公債等		
	日本高速道路債	99,890,607	
	国債	49,807,531	
	地方公共団体金融機構債	99,325,754	
定期預金		225,976,108	
	三井住友銀行		
(2)特定資産		1,973,493,386	
運営強化等積立資産	1,844,323,286		
退職給付積立資産	129,170,100		
(3)その他の固定資産		61,809,016	
造 作	事務所間仕切他	4,102,553	
什 器 備 品	パソコン他	3,743,563	
機 械 装 置	L A N用通信設備他	1,218,175	
ソ フ ト ウ ェ ア	システムソフト類	9	
電 話 加 入 権		2,841,592	
保 証 金	事務所借室保証金他	49,435,766	
長 期 前 払 費 用		467,358	
資 産 合 計			3,476,604,224

(単位：円)

負 債 の 部		金 額	
目	摘 要		
I 流動負債			788,592,802
短期借入金	借入先：三井住友銀行 500,000,000	500,000,000	
未払金		151,119,165	
	補助事業 14,665,104		
	受託事業 51,815,630		
	試験・講習事業 19,753,377		
	出版事業 5,804,219		
	教育事業 872,806		
	普及事業 1,144		
	その他事業費 2,694,913		
	管理費 22,147,617		
	旅費・謝金 33,364,355		
会費前受金	令和6年度賛助会費	58,049,010	
前受金	雑誌年間購読料、講座受講料等	62,959,853	
預り金		7,352,931	
	源泉所得税 5,370,881		
	社会保険料 13,350		
	住民税 1,838,800		
	その他 129,900		
賞与引当金		9,111,843	
II 固定負債			129,170,100
退職給付引当金		129,170,100	
負債合計			917,762,902
差引：正味財産			2,558,841,322

注)財産目録は、任意に作成したことから、公益会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」の様式に準拠していない。

独立監査人の監査報告書

令和7年5月23日

一般財団法人省エネルギーセンター
会長 海輪 誠 殿

大串公認会計士事務所

東京都中央区
公認会計士

大串 卓夫 

公認会計士岡田育大事務所

東京都港区
公認会計士

岡田 育大 

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人省エネルギーセンターの令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び業務について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、決算関係書類及び会計監査人が作成した会計監査報告を精査し、関係書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会その他の会議への出席や関係書類の閲覧等によって、業務執行の妥当性を確認しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録は、当財団の収支及び財産の状況を正確に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、当財団の事業の状況を正確に示しているものと認めます。

令和7年5月28日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 長谷川 裕夫



監事 安丸 徹



監査報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

公益目的支出計画の実施状況について、関係書類の閲覧や事業報告の聴取等によって確認しました。その結果、公益目的支出計画実施報告書は、当財団の公益目的支出計画の実施状況を正確に示しているものと認めます。

令和7年5月28日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 長谷川裕夫 

監事 安丸徹 